

昭和50年度リンゴ関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

昭和50年度リンゴ関係委託試験成績検討会 者28名、植調2名の出席を得て開催された。
は昭和51年2月26日、盛岡市（岩手県職員 今回は除草剤9薬剤、生育調節剤6薬剤につ
共済会館）に於いて農林省果樹試験場栽培部長 いて検討されたが、その判定結果は別表の通り
始め試験場関係者24名、委託者（会社）関係 である。

昭和50年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験薬剤一覧および判定表

A. 除 草 剤

薬 剤 名 〔種類名〕 〔商品名〕 〔委託者名〕	剤 型	有効成分および 含 有 率	試験の種類 ・試験の ねらい	対 象 雑 草 処理方法（薬量 ・時期等）	試験場所	前回 判定	今回 判定	判定の理由・内容 （薬量は 10a当り）
1. A-3587 〔トリアジン系〕 カラガード (日本チバガ イギー)	水 和	GS-13529: 2-クロ ロール-4-エチルア ミノ-6-tert- ブチルアミノ-S- トリアジン 25% GS-14259: 2-メ トキシ-4-エチル アミノ-6-tert- ブチルアミノ-S- トリアジン 25%	・薬害試験 (1) ・連用によ る薬害の 検討	・土壌処理 ・300,750 g/a ・水量 20L/a (前年 A-3587 処 理区を使用)	果試盛岡支 場. (1)	実継	継	(前年の実の部分 はそのまま) 苗木畑、幼木園 での特に薬害に ついて。
2. A-3587 500FW 〔トリアジン系〕 カラガードフ ロアブル (日本チバガ イギー)	フ ロ ア ブ ル	GS-13529: 同 上 GS-14259: 同 上 製剤1L中に各 250 g含有 (50%W/V)	・適用性試 験 (4) ・剤型変更 による効 果等確認	・畑地1年生雑草 一般 ・雑草茎葉処理 (草丈30cm 以下) ・刈取代用75, 100mL/a 永久除草 150mL/a 春草(5月), 夏草(7月) (水和剤との効 果比較)	果試盛岡支 場, 青森畑 作園試, 秋 田果試, 富 山農試魚津 果樹分場. (4)	新規	継	効果の再確認, 薬 害試験. 〔試験年次不足〕
3. DBN(6,7) 〔DBN カソロン剤 6,7〕	粒 剤	2,6-ジクロロベンゾ ニトリル 6.7%	・適用性試 験 (3) 薬害試験 (2)	・畑地1年生全般, 多年生広葉一般 ・土壌処理(1年生)	青森りんご 試, 岩手園 試, 宮城農	新規	継?	薬害の恐れあり。

薬 剤 名 (種類名) (商品名) (委託者名)	剤 型	有効成分および 含 有 率	試験の種類 ・試験の ねらい	対 象 雑 草 処理方法(薬量 ・時期等)	試験場所	前回 判定	今回 判定	判定の理由・内容 (薬量は 10a当り)
3. DBN つづき (北興化学工 業)			・ 倭性台木 使用園へ の拡大	雑草茎葉処理 (多年生広葉) 600,800,1000 g/a ・ ①雑草発生前 ～極始期 (1年生) ②雑草生育期 (多年生広 葉)	セ園試, 福 島園試, 長 野園試. (5)			
4. DPX-3674 〔S-トリアジン 系 ベルバー〕 デュボン・ファ (ーイースト) 日本支社	水 溶	3-シクロヘキシル- 6-ジメチルアミノ -1-メチル-S- トリアジン-2,4 (1H, 3H)-ジ オン 90%	・ 基礎試験 (1) ・ 苗木園を 中心とし た安全性 を確認 ⊕ 倭性台 ではない	・ 土壌処理 50,100 g/a	果試盛岡支 場. (1)	新規	中止	薬害甚大.
5. KH-196 〔DBN・トリ フルラン〕 (兼 商)	粒	DBN: 2,6-ジクロ ルベンゾニトリル 4.0% トリフルラン: α, α, α-トリフルオ ル-2,6-ジニトロ -N, N-ジプロピ ル-P-トリジン 1.5%	・ 適用性試 験 (4) 薬害試験 (2) ・ 既実用薬 剤の混剤 化による 効果, 薬 害の確認	・ 畑地1年生全般, 多年生広葉一般 ・ 土壌処理 ・ 混和 68 kg/a, 表面 9 kg/a ・ 春期 雑草発 生前 (混和) 初期 (表面) 夏期: 雑草発 生前(混 和) ・ 表面処理を対 照区とする.	北海道中央 農試, 青森 りんご試, 秋田果試花 輪分場, 福 島園試, 長 野園試, 富 山農試魚津 果樹分場. (6)	新規	継	〔試験年次不足〕 効果の再確認, 薬害試験.
6. MON-39 〔グリフォセート ラウンドアップ〕 (日本モンサ ント)	液	N-(フォスフォノメ チル)グリシンイソ プロピルアミン塩 410%W/W	・ 適用性試 験 (5) 薬害試験 (1) ・ 草種と薬 量(最小 薬量)と の関係, 抑草期間, 安全性等 の検討.	・ 畑地雑草全般 ・ 雑草茎葉処理 ・ 15,30 ml/a ・ 水量 5~10ℓ /a 春期, 夏期の 生育期	果試盛岡支 場, 北海道 中央農試, 青森りんご 試, 秋田果 試, 山形園 試, 富山農 試魚津果樹 分場. (6)	S49 継 S48 実継	実・ 継	実: 025ℓ 雑草茎 葉処理. (幼木園, わい 台園への適用 可). 継: 低薬量での効 果の再検討.

薬 剤 名 〔種類名〕 (委託者名)	剤 型	有効成分および 含 有 率	試験の種類 ・試験の ねらい	対 象 雑 草 処理方法(薬量 ・時期等)	試験場所	前回 判定	今回 判定	判定の理由・内容 (薬量は 10a 当り)
7. SSH-36 〔アシュラム・ア イオキシニル アシュメックス〕 (塩野義製薬)	液	アシュラム：N-メト キシカルボニルスル ファニルアמיד 20% アイオキシニル：35 -ジョード-4-ヒ ドロキシベンゾニ リル 3%	・薬害試験 (2) ・処理型に よる幼木 への影響 を見る。	・土壌処理 枝葉処理 250,500,1250 mL/a 5~7月	岩手園試、 山形園試。 (2)	実継	継	(前年度の実の部 分はそのまま) 薬害試験について。 (2年生苗木で再 検討)。
8. Suster 〔サスター〕 (日産化学工 業)	乳	N-2,4-ジメチル -5-[1,1,1- トリフルオロメチル] サルフォニル]アミ ノ フェニル>アセ トアמיד 48%	・適用性試 験 ・牧草草生 園、下草 の伸長抑 制による 刈取省力	・(牧草)茎葉処 理 ・30,60 mL/a ・水量 20L/a ①春期、平均 草丈 10cm 時 ②生育期の刈 取直後 (①草丈 15cm 以上になら ないように)	果試盛岡支 場、青森畑 作園試、秋 田果試(自 主)、同花 輪分場、長 野園試。 (5)	実継	継	処理時期、処理方 法について再検討。 (例えば雑草草丈 10cm 以下の早 期処理、春、夏2 回連用法など)。
9. トリフルラリン 〔トリフルラリン〕 〔トレファノサイ ド粒剤 25〕 (塩野義製薬)	粒	α,α,α -トリフルオル -2,6-ジニトロ N,N-ジプロピル -P-トルイジン。	・適用性試 験 (4) ・薬害試験 (1) ・幼木園、 矮性台木 園の永久 除草	・畑地1年生雑草 一般 ・土壌処理 ・混和(散布時 または直後) 表面 ・06,09 kg/a ・雑草発生前 (混和はロータ リーで5~10 cm) (清耕園と比較)	青森りんご 試、岩手園 試、宮城農 セ園試、福 島園試、長 野園試。 (5)	継続	継	土壌混和处理を前 提に薬効、薬害に ついて、再検討。

B. 生育調節剤

薬 剤 名 〔種類名〕 (委託者名)	剤 型	有効成分および 含 有 率	対象品種 試験の種類	処 理 方 法 (薬量・時期等)	試験場所	前回 判定	今回 判定	判定の理由・内容
1. 2,4 P A 〔2,4 P A〕 〔2,4-Dアミン 塩〕	液	2,4-ジクロルフェノ キシ酢酸ジメチルア ミン 495%	・デリシャ ス系 ・落果防止	果梗部、果実、果 そう葉処理 ・収穫 2~3週 間前 20,30 ppm	青森りんご 試、岩手園 試、宮城農 セ園試、長 野園試。 (4)	継?	中止	果実の軟化が問題。

薬 剤 名 〔種類名〕 (商品名) (委託者名)	剤 型	有効成分および 含 有 率	対 象 品 種 試験の種類	処 理 方 法 (薬量・時期等)	試験場所	前回 判定	今回 判定	判定の理由・内容
5. SiO ₂ つづき (塩野義製薬)				① 2 回散布 (落果直後, 10 日後) ② 3 回散布 (落果直後, 10 日 20 日後) ③ 2 回散布 + 大袋 ④ 3 回散布 + 大袋 ⑤ 有袋 (小袋 + 大袋) ⑥ 無袋				
			・祝 ・サビ, ヒビ果発生防止	果実を中心に動噴散布 ・ 50 ~ 60ℓ/a (30 ~ 40ℓ/成木 1 樹) ・ ①開花始, 落花 10 日後 20 日後 ・ ②開花始, 10 日後 ・ ③無処理	福島園試, 長野園試. (2)	継続	継?	効果不十分.
6. Paraffin 〔ステッケル〕 (八洲化学)	乳 (ゾル)	パラフィン 24 %	・ ゴールデンデリシヤス ・ 被膜によるサビ防止	散布処理 ・ 50 倍液に生石灰 1 % ・ 落花直後, 10 日後 ・ 対照シオノックス同時期 2 回散布	秋田果試, 山形園試, 長野園試. (3)	継続	継	効果の再確認.

昭和50年度落葉果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

昭和50年度の落葉果樹関係委託試験成績検討会は、昭和51年2月6日、東京（農林年金会館）にて、農林省果樹試験場関係者はじめ試験場関係者33名、委託者（メーカー）関係者30名、植調6名の出席を得て、除草剤5薬剤、生育調節剤4薬剤について検討が行われたが、